

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 剰余金の配当基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買はできません。

※未払配当金のみ、みずほ銀行本店および全国各支店でもお取扱いいたします。

- 公告方法 電子公告 (<http://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

●上場株式配当等の支払に関する通知書について

お支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することになっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成28年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成28年の確定申告の添付書類としてご使用になる支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号
TEL.03-3546-7711
<http://www.musashinet.co.jp/>

Interim Report 2015

第95期 中間報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

株式会社 **ムサシ**

証券コード：7521

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第95期中間報告書をお届けするに際しまして、この間の営業の概況についてご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速影響が一部に見られるものの、輸出企業を中心とする企業業績の改善により設備投資需要が好転し、個人消費も底堅い動きを示すなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高171億9百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益5億26百万円（前年同四半期比150.8%増）、経常利益5億90百万円（前年同四半期比62.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億74百万円（前年同四半期比51.3%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

情報・印刷・産業システム機材

情報・産業システム機材は、非破壊検査機材の販売が若干伸び悩みましたが、スキャナー等の電子化機器の販売が伸びました。また、文書のデジタル化事業については、採算性重視で案件の選別受注を進める中、民間企業からの受注が着実に拡大し、全体的に概ね順調に推移いたしました。

印刷システム機材は、印刷材料の販売は概ね順調でしたが、機器の販売については低価格機種の販売が中心となった影響で若干低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は113億10百万円、営業利益は17百万円となりました。

金融汎用・選挙システム機材

金融汎用システム機材は、金融機関向け貨幣処理機器の更新の遅れと、セキュリティ機器の商談遅延の影響により低調に推移いたしました。

選挙システム機材は、統一地方選挙向けや各地方選挙向けに投票用紙交付機や読み取り分類機などの機器やシステムの販売が好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は29億28百万円、営業利益は4億45百万円となりました。

紙・紙加工品

紙・紙加工品は、紙器用板紙の販売は堅調だったものの、印刷用紙と感光材料包装紙の販売が落ち込んだため低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は27億90百万円、営業利益は0.4百万円となりました。

不動産賃貸・リース事業等

不動産賃貸業、リース事業等の売上高は2億33百万円、営業利益は61百万円となりました。

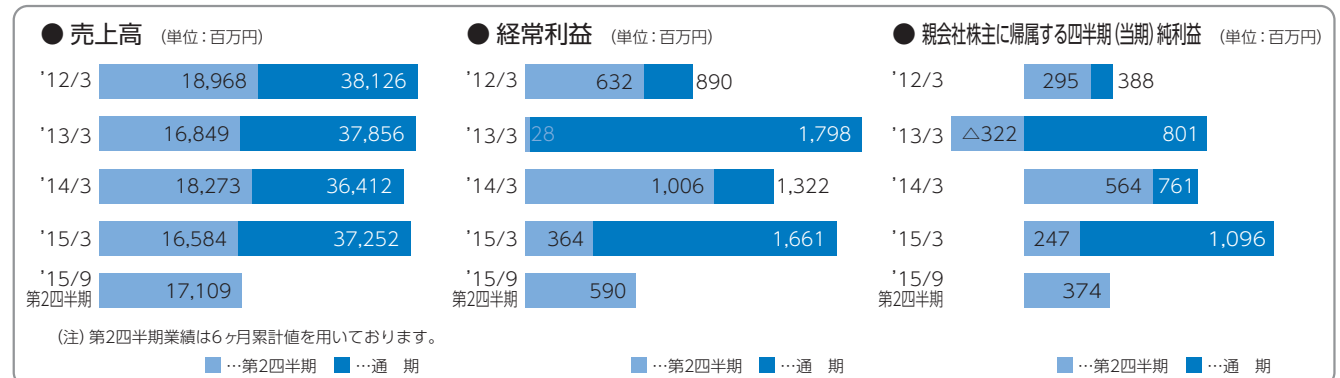
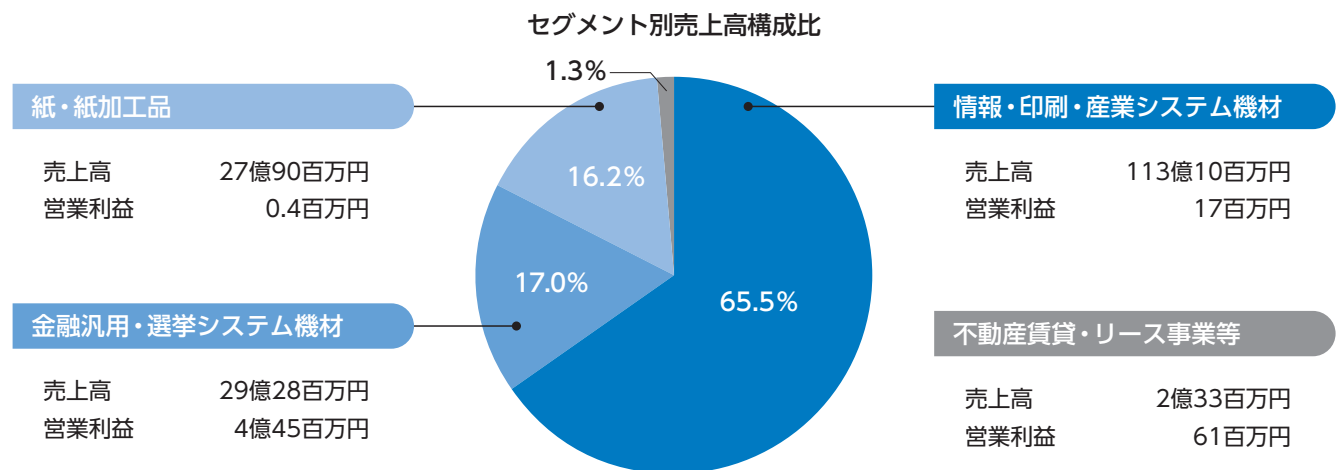
株主の皆様には、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2015年12月

代表取締役社長 羽鳥雅孝

連結 経営成績	売上高	171億 9百万円
	営業利益	5億26百万円
	経常利益	5億90百万円
	親会社株主に帰属する四半期純利益	3億74百万円



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

四半期連結貸借対照表

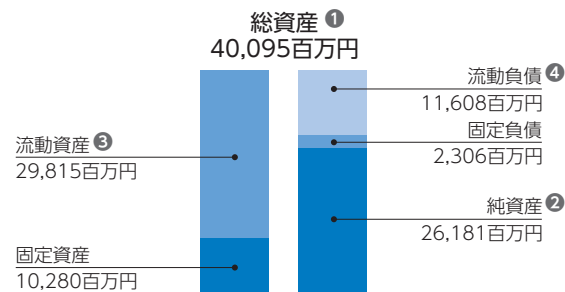
(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期末 2015年9月30日現在	前期末 2015年3月31日現在
資産の部		
1 流動資産	29,815	31,302
2 固定資産	10,280	10,203
有形固定資産	3,459	3,404
無形固定資産	192	198
投資その他の資産	6,627	6,600
資産合計	40,095	41,506
負債の部		
3 流動負債	11,608	13,316
4 固定負債	2,306	2,274
負債合計	13,914	15,590
純資産の部		
株主資本	25,500	25,275
その他の包括利益累計額	680	640
5 純資産合計	26,181	25,915
負債・純資産合計	40,095	41,506

四半期末資産・負債の状況

自己資本比率(財務の健全性)
=②÷①×100
65.3%

流動比率(短期の支払能力)
=③÷④×100
256.8%



貸借対照表のポイント

資産

1 流動資産

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は298億15百万円となり、前連結会計年度末より14億87百万円減少いたしました。減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(13億19百万円)及び流動資産の「その他」の減少(1億97百万円)、増加の主な要因は、現金及び預金の増加(61百万円)であります。

2 固定資産

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は102億80百万円となり、前連結会計年度末より76百万円増加いたしました。増加の主な要因は、有形固定資産の増加(55百万円)及び退職給付に係る資産の増加(23百万円)であります。

負債

3 流動負債

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は116億8百万円となり、前連結会計年度末より17億7百万円減少いたしました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(13億84百万円)、未払法人税等の減少(77百万円)及び流動負債の「その他」の減少(2億30百万円)であります。

4 固定負債

当第2連結会計期間末の固定負債の残高は23億6百万円となり、前連結会計年度末より31百万円増加いたしました。増加の主な要因は、役員退職慰労引当金の増加(19百万円)及び固定負債の「その他」の増加(10百万円)であります。

純資産

5 純資産

当第2連結会計期間末の純資産の残高は261億81百万円となり、前連結会計年度末より2億65百万円増加いたしました。増加の要因は、四半期純利益3億74百万円及びその他包括利益の増加(39百万円)、減少の要因は、剰余金の配当1億48百万円であります。この結果、自己資本比率は65.3%(前連結会計年度末は62.4%)となりました。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
売上高	17,109	16,584
売上原価	13,485	13,238
売上総利益	3,624	3,346
販売費及び一般管理費	3,097	3,136
営業利益	526	210
営業外収益	81	174
営業外費用	18	20
経常利益	590	364
特別利益	-	122
税金等調整前四半期純利益	590	487
法人税、住民税及び事業税	199	28
法人税等調整額	17	211
四半期純利益	374	247
親会社株主に帰属する四半期純利益	374	247

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、連結損益計算書における「少数株主損益調整前四半期純利益」は「四半期純利益」に、「四半期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」としてあります。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	390	△403
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△178	761
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△150	△75
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	61	282
現金及び現金同等物の期首残高	16,905	15,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,967	15,431

ホームページでさらに詳しい情報をご覧ください。

<http://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページ「IR情報」では、決算説明会資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



業績ハイライトや、過年度の決算短信、年次報告書など様々なIR情報をご覧ください。最新の株価などもご確認いただけます。

より使いやすいサイトを目指してまいります。

キャッシュ・フロー計算書のポイント

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益5億90百万円、減価償却費1億59百万円、売上債権の減少13億19百万円等の収入要因がありましたが、仕入債務の減少13億84百万円、法人税等の支払額2億38百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得・売却等による支出(純額)1億52百万円等によるものであります。

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払1億48百万円の支出によるものであります。

企業による情報デジタル化の伸展

金融機関や保険会社、製造業など様々な業種で、重要文書等を電子データ化し活用・管理する需要が急速に拡大しています。また、2016年から実施されるマイナンバー制度によって企業における情報電子化のトレンドはさらに加速すると予想されています。当社は豊富な経験とノウハウで国内最大のイメージングセンターをフル活用し、メディアコンバート事業の拡大にグループで取り組んでいます。



データ入力

幅広い
スキャンング
に対応



書籍のスキャンング



X線フィルムのスキャンング



マイクロフィルムのスキャンング

会社概要 (2015年9月30日現在) CORPORATE DATA

商号	株式会社ムサシ
設立	1946年12月
本社	東京都中央区銀座八丁目20番36号
資本金	1,208,500,000円
従業員数	連結549名/単体246名
主要取引銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行
関係会社	ムサシ・フィールド・サポート(株) 武蔵エンジニアリング(株) (株)ムサシ・エービーシー ムサシ・イメージ情報(株) ムサシ・アイ・テクノ(株) エフ・ビー・エム(株) 武蔵興産(株) (株)武蔵エンタープライズ (株)ジェイ・アイ・エム

役員	取締役名誉会長	都木 恒夫
	代表取締役会長	小林 厚一
	代表取締役社長	羽鳥 雅孝
	常務取締役	佐々木 淳
	常務取締役	村田 進
	常務取締役	山村 隆
	取締役	吉川 伸一
	取締役	浅川 正仁
	取締役	新妻 一俊
	取締役	廻 真一郎
	取締役	栃木 真司
	社外取締役	高原 巨章
	常勤監査役	中川 裕務
	常勤監査役	桑原 弘順
	社外監査役	安藤 信彦
	社外監査役	浅野 修一

株式の状況 (2015年9月30日現在) STOCK INFORMATION

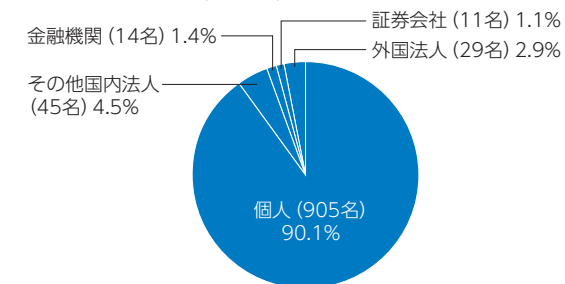
- 発行可能株式総数…………… 28,920,000株
- 発行済株式の総数…………… 7,950,000株
- 株主数…………… 1,004名

●大株主

株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,388 千株	18.7 %
ショウリン商事株式会社	897	12.1
ムサシ社員持株会	506	6.8
株式会社みずほ銀行	360	4.8
ムサシ互助会	299	4.0
小林厚一	237	3.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	236	3.2
MSCO CUSTOMER SECURITIES	224	3.0
株式会社三井住友銀行	190	2.6
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	186	2.5
羽鳥雅孝	137	1.8

(注)持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
当社は自己株式506千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の所有者別状況 (株主数)



●株式の所有株数別状況 (株主数)

